

神戸商工会議所 経営経済四半期動向調査 (2021年7~9月期) 調査結果

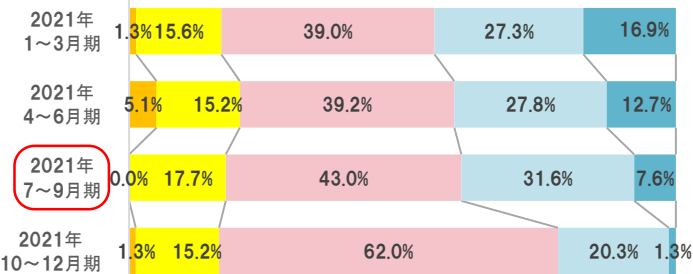
●調査対象 神戸商工会議所会員79事業所/対象106事業所
●調査時期 2021年9月7日~16日

●調査内容 1~2: 定期調査 / 3~4: 付帯調査

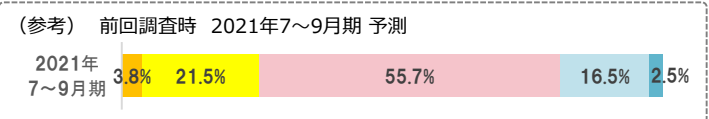
1. 各社の業況について

- ◆今期(7~9月)は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令(兵庫県: 8月20日~9月30日)され、前期に引き続き約4割の企業が業況悪化の見方を示した。
- ◆来期(10~12月)の予測は、現状維持が6割を占めるなど、依然として先行きの見方に慎重な姿勢が伺える。

(前期に比べて) ■良い ■どちらかと言えば良い ■変わらない ■どちらかと言えば悪い ■悪い



前期との比較 4~6月 →7~9月	良い / どちらかと言えば良い		どちらかと言えば悪い / 悪い	
		20.3%→17.7%	▲2.6%	40.5%→39.2%
主な業種	ゴルフ練習場、温浴施設、不動産、鉄鋼、金属加工		百貨店、菓子製造・販売、観光サービス、機械製造	



2. 各社・業界での特徴的な動きなど

(1) 個人消費・観光・サービス関係

- ・感染拡大の影響により、前年同期比大幅減収。【菓子・パン製造販売】
- ・Gotoキャンペーン等の売上増加要素がなく、厳しい状況が続いた。【商業施設運営】
- ・外食部門の売上が壊滅的で、ホテルや飲食店への卸もなく非常に厳しい。昨年は店頭販売や通販の売上が伸びたが、今年はその伸びも無い。【食肉小売・飲食店】
- ・7月は感染が減少し、夏休みやオリンピック等への期待感から消費回復の手応えがあったが、その後の感染拡大により急速に萎んだ。【菓子製造・販売】
- ・コロナ禍により、食品業界では、家庭用市場と業務用市場で二極化が進んでいる。原材料の値上げが相次ぐ中、消費者の節約志向の高まりもあり、価格転嫁を進められるかが課題。【食品製造】
- ・小麦粉、油脂類の原材料の値上げは確実だが、価格転嫁は難しい。【菓子製造・販売】
- ・コロナ禍でもサウナブームによる温浴入湯は好調。【温浴施設】
- ・コロナ禍でも好調であるが、求人が全く集まらない。【ゴルフ場】
- ・ウッドショック等による材料確保や値上げ局面が懸念されるが、現時点の需要は堅調。【不動産】

(2) 製造・輸出入・建設関係

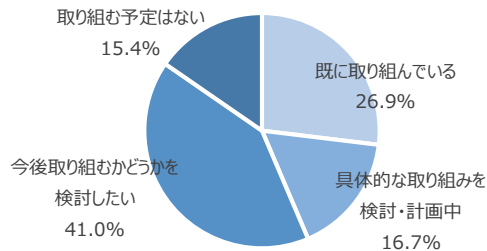
- ・産業機械分野は、海外からの需要も含め引き続き堅調。【産業機械製造・販売】
- ・新設工場の建設や生産設備の導入などの話が増えてきた。【電気工事】
- ・受注は堅調に推移するが、価格競争が厳しく、先行きが不透明である。【土木工事】
- ・コロナ禍により設備投資に慎重な企業も多い。【総合建設】
- ・海外では、持ち直しが見られる地域とロックダウンが続く地域が混在し、見通しが立てにくい。特に東南アジアにおいては、製造・販売両方への影響が出てきた。【電気機械製造】
- ・原材料価格・加工賃など仕入コスト全般が値上がりしている。【総合商社】
- ・鉄ほか原材料費の高騰が続く、利益の圧迫に繋がっている。【総合建設】
- ・半導体部品不足でメーカーからの精密機器の仕入れが遅延。顧客への納入遅延が多発している。【電気機械器具卸売】
- ・緊急事態宣言で訪問・対面での営業活動が制限されている。【総合商社/医療機器卸売】

(3) その他

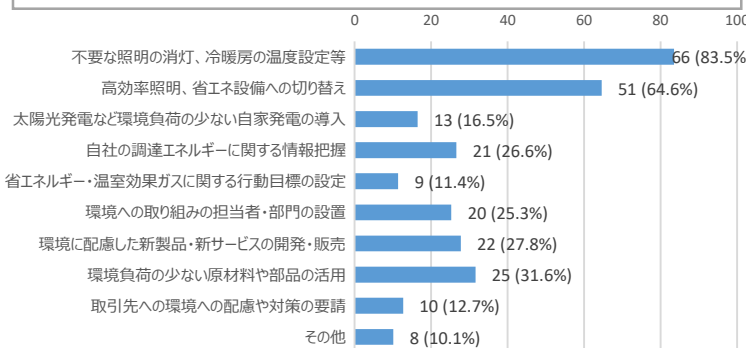
- ・経済活動の制限の中で、卸売業には具体的な支援がない。地域固有の文化が将来に継承できなくなるのではと危惧している。【食料品小売】
- ・ワクチンパスポートなど、ワクチン接種者へ一定の自由な活動を許容することで、経済活動の回復を目指さなければならない時期に来ている。【通信販売】
- ・DX運用までに時間がかかり、社内に適正な人材を確保する必要性を痛感した。【飲料卸売】

3. 脱炭素に関連した取り組みについて

- (1) ビジネスとしての脱炭素に関連した取り組み状況について尋ねたところ、「今後取り組みかどうかを検討したい」が最も多く、4割を占めた。「既に取り組んでいる」(26.9%)、「具体的な取り組みを検討・計画中」(16.7%)をあわせると、8割半ばの企業が脱炭素への取り組み意識を持っていることが伺える。



- (2) 自社のビジネスに限らず、実施・検討していることを尋ねたところ、「不要な照明の消灯、冷暖房の温度設定等」[66件]が最も多く、次いで「高効率照明、省エネ設備への切り替え」[51件]など、日常的な取り組みが上位に並んだ。(複数回答)



(脱炭素に関連した取り組み内容)

- ・中長期的なコスト削減のため、空調設備や照明設備等を順次、省エネ効率の高い設備へ更新している。【不動産/観光施設/靴小売/建築材料卸売/設計/印刷】
- ・業界初のレインフォレスト認証の原料、FSC認証紙等の使用を通じ、持続可能な環境保護に力を入れている。【食品加工】
- ・環境配慮型の製品開発に取り組んでいる。【鉄鋼/原動機製造/化成製品製造】
- ・新施設導入にあたり、ZEB(Net Zero Energy Building)化を検討。【産業機械製造・販売】
- ・太陽光発電による再生可能エネルギーの利用や、自家発電設備による低炭素エネルギーの利用など、よりクリーンなエネルギーへの転換に取り組んでいる。【輸送用機械】
- ・経営戦略としてSDGsや脱炭素への課題・目標を設定し、計画的に取り組んでいる。【輸送用機械/工業用ゴム製品製造】

(取り組みにあたっての課題など)

- ・必要性は感じているが、コスト負担や価格転嫁できない等の問題がある。【菓子製造/印刷】
- ・環境負荷の少ない原材料への変更はコストアップに繋がるケースが多いため、顧客要請に基づく受動的な対応が多い。【食品製造】
- ・商業施設のため、取り組みを統一・徹底しにくい。法整備など国の後押しも必要。【百貨店】

4. ニューノーマルとして定着すると思われることについて

- コロナ禍により、新たな生活様式・働き方が浸透しつつある中、今後、事態が一定収束した後も、ビジネス面で定着すると思われることについて尋ねたところ、「オンラインによる社内会議」[61件]が最も多く、次いで「オンラインによる販売・営業活動」「会食を伴う社外接待・懇親会の縮小」[47件]となった。(複数回答)

